

MediaSense および VOS プラットフォームのための Linux DNS を解決して下さい

目次

[はじめに](#)

[問題](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料に MediaSense サーバおよび他の音声オペレーティング システム (VOS) プラットフォームのための Linux によって基づくドメイン名サービス (DNS) をトラブルシューティングする方法を記述されています。

Mingze 浴によって貢献される、Cisco TAC エンジニア。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

Cisco VOS プラットフォーム

使用するコンポーネント

MediaSense 11.0

CentOS は Linux DNS サーバのために使用しました

問題

MediaSense OS 管理者ページでは、DNS は到達不能を示します。

トラブルシューティング

ステップ 1.このコマンド `utils` システムを確認するために**診断しますテスト**を実行して下さい

警告 : 動作したときこのコマンド、この問題

https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/bug/CSCuu99832/?referring_site=bugquickviewr edir を見つけることができ、回避策 `utils` がモジュール `validate_network` を診断すると同時にこのコマンドを実行して下さい

呼び出します。このコマンドの結果は失敗される逆 DNS を示します

診断試験の開始

=====

テスト- validate_network: 失敗されるリバーズ DNS ルックアップ

完了する診断

ステップ 3. Verfied Linux DNS 設定。Linux DNS 反転 設定の最初 coloum はサーバの IP アドレスの最後のオクテットである必要があります。

たとえばこの場合、MSA サーバの IP アドレスは x.x.x.25 です。そのため逆DNSエントリはある必要があります

```
25 IN PTR MSA.Domain
```

これはオリジナル設定です:

```
3 IN PTR CUCM10PUB.Domain.  
4 IN PTR CUCM10SUB. Domain.  
5 IN PTR CUPS10PUB.Domain.  
6 IN PTR CUPS10SUB.Domain.  
7 IN PTR UCCXA.Domain  
8 IN PTR UCCXB.Domain  
9 IN PTR MSA.Domain  
10 IN PTR MSB.Domain
```

ステップ 4. **utils** を診断しましたりモジュール **validate_network** を、しかしまだ得ました reverse DNS 失敗を再実行しました

診断試験の開始

=====

テスト- validate_network: 失敗されるリバーズ DNS ルックアップ

完了する診断

今回、MediaSense サーバからのパケット キャプチャ。

パケット キャプチャ **utils** ネットワーク キャプチャ **eth0** ファイル **newcap** 数 100000 サイズにこのコマンドをすべて実行して下さい

このコマンド **utils** 診断しますモジュール **validate_network** を実行して下さい

それが終わるまで待って下さい。それから、キャプチャを停止する **Ctrl + C** 押して下さい。

キャプチャを保存するためにこのコマンド **ファイル** リスト **activelog** プラットフォーム/**cli/***.cap を実行して下さい。

ステップ 5 DNS サーバからのパケットを調べるのにこのフィルタ **dns** および **ip.dst==10.66.75.140** または **dns** および **ip.src==10.66.75.140** を使用して下さい。

